

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立菟道高等学校 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール部員</li> <li>・卓球部員</li> <li>・サッカー部員</li> </ul>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科名 ( )</li> <li>② 行事名 (課外活動)</li> <li>③ その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① イベント名 ( )</li> <li>② その他 ( )</li> </ul>
4 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会における自他の尊重</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) 「府立学校交流ソフトボール大会」</p> <p>○日 時：令和元年7月30日（火）9:00～14:00</p> <p>○場 所：府立山城総合運動公園第2・第3野球場</p> <p>○内 容</p> <p>府立3高等学校と3支援学校とのソフトボール交流会に参加した。府立高校生と支援学校生徒との4合同チームを結成し、それぞれ対戦した。最初はお互い声が掛けられない様子であったが、試合を進めるうちに、自然と声援を送り合い、助け合いながらプレーができるようになり、チームワークを築いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 「府立宇治支援学校高等部生徒との卓球交流会」</p> <p>○日 時：令和元年9月21日（土）13:30～16:00</p> <p>○場 所：府立宇治支援学校体育館</p> <p>○内 容</p> <p>本校卓球部生徒 13名と府立宇治支援学校高等部生徒 13名とが</p>

卓球交流会を行った。この交流会は今回で5回目となる。支援学校生徒の中には、全国大会に府代表として出場予定の選手もあり、白熱した試合を展開し、障害の有無に関わらず、お互いスポーツを通して切磋琢磨しあい、助け合う姿勢を身につける機会となった。



(3)「府立宇治支援学校生徒とのサッカー交流会」  
 ○日 時：令和2年1月18日(土) 9:30~12:30  
 ○場 所：府立宇治支援学校グラウンド  
 ○内 容

本校サッカー部生徒と宇治支援学校生徒によるサッカー合同練習会を行った。練習ではストレッチや走り込み、ボール回し等の準備運動を行った。試合は混成チームを編成し、2試合行った。お互い声を掛け、パスを回しあい楽しく取り組むことができた。



6 主な成果	<p>スポーツを通して特別支援学校生徒と交流を数年間継続して行っている。障害の有無に関わらず、自己理解・他者理解、人権を尊重する資質や能力を身につけるきっかけとなっている。競技中、好プレイに対して声援や拍手を送るなど、お互いを思いやる態度が見られた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各競技において、学校間で配慮すべき事柄について事前の情報交換を行った。</li> <li>障害に応じ、交流試合独自のルールを設定することにより、競技者の能力を発揮できるようにした。</li> </ul>
8 主な課題等	<p>ソフトボール交流会を夏季休業中に実施するため、生徒の健康・安全面に十分配慮しなければならない。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>ソフトボール、卓球、サッカー各交流に関しては、過去数年間継続した取組ができています。次年度以降も継続する予定です。</p>